



第161回定期演奏会

北欧の民謡風清純な暗示

2018
4/20(金) 18:00開場
18:45開演
2/9発売

指揮／角田鋼亮(当団指揮者)
ピアノ／イリーナ・メジューエワ

シベリウス：交響詩「春の歌」Op.16
グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調 Op.16
ラーション：田園組曲 Op.19
アッテルベリ：交響曲第4番ト短調 Op.14

第162回定期演奏会

神秘的な中世の自然表現

2018
6/1(金) 18:00開場
18:45開演
3/9発売

指揮／マーク・マスト

ベートーヴェン：「エグモント」序曲 Op.84
ブルックナー：交響曲第4番変ホ長調
「ロマンティック」(ノヴァーク版)



©大杉隼平

©中村いさむ



4月19日(木) 第161回定期演奏会プレイベント 入場無料
会場／名古屋文理大学文化フォーラム 先着200名

- 10:30～11:20「公開講座」小ホール
- 12:00～13:00「公開リハーサル」大ホール

公開講座…@FM「おはクラ・サタデー」でおなじみの山本雅士が定期演奏会で取り上げる楽曲や作曲者にまつわるエピソードを紹介します。
公開リハーサル…オーケストラが曲を作り上げていくリハーサルの一部を公開します。イヤホン付きFMラジオで館内FM放送によるリハーサル内容の
実況解説をお聴きいただけます。(解説をお聴きになりたい場合はイヤホン付きFMラジオをご持参下さい)

お問い合わせ／名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111 (稲沢市正明寺3丁目114)

5月30日(水) 第162回定期演奏会プレイベント 入場無料
会場／名古屋文理大学文化フォーラム 先着200名

- 10:30～11:20「公開講座」小ホール
- 12:00～13:00「公開リハーサル」大ホール

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15 (地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

入場料 A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円 学生席1,000円他
※未就学児の入場不可 (座席指定の場合は各席半額)

プレイガイド

- 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999
[4/20(Pコード102-987)] [6/1(Pコード102-988)]
- カワイ名古屋 ☎052-962-3939
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
- しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117

お問い合わせ・チケット取扱い

セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851

主催／一般社団法人セントラル愛知交響楽団
共催／中日新聞社 後援／愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・@FM
協賛／三井住友海上しらかわホール・名古屋ポストン美術館・名古屋市美術館

助成／文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

クラシック音楽聴くなら
セントラル愛知交響楽団 検索
http://www.caso.jp
チケットはホームページからお申込み頂けます。

セントラル愛知交響楽団定期演奏会2018-2019

第161回定期演奏会 ～北欧の民謡風清純な暗示～



指揮 角田鋼亮(当団指揮者)

Kosuke Tsunoda

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2006年第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクール第2位。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都響、東響、東京フィル、日本フィル、仙台フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、大阪フィル、京都市響、日本センチュリー響、大阪響、九響、アンサンブル金沢等と共演している。現在、セントラル愛知交響楽団指揮者および大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者を務めており、加えて2018年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任する。2016年、第11回名古屋ペンクラブ音楽賞を受賞。2018年1月には、大阪フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に登壇。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として、活躍の場を拡げている。

公式ホームページ:<http://kosuketsunoda.com/>



ピアノ イリーナ・メジューエワ

Irina Mejoueva

ロシア生まれ。モスクワのグネーシン特別音楽学校とグネーシン音楽大学(現ロシア音楽アカデミー)でウラジーミル・トロップ教授に師事。1992年ロッテルダム(オランダ)で開催された第4回エドゥアルド・フリプセ国際コンクールでの優勝後、オランダ、ドイツ、フランスなどで公演を行う。1997年からは日本を本拠地として活動。2002年、スタインウェイ・ジャパンによる国内コンサートツアー。2003年、サンクトペテルブルク放送交響楽団と日本国内4都市で共演。2005～06年にはザ・シンフォニーホール(大阪)で4回にわたるリサイタル・シリーズを開催。2006年からは毎年京都でリサイタルを行うなど、精力的な演奏活動を展開している。CD録音にも精力的で、これまでに多数のアルバムをリリース。「ショパン:ノクターン全集」は2010年度レコードアカデミー賞(器楽曲部門)に輝く。2017年9月には「ピアノの名曲 聴きどころ 弾きどころ」(講談社現代新書)を出版。2006年度青山音楽賞受賞。2015年、第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(クラシック部門、独奏・独唱部門賞)を受賞。

第162回定期演奏会 ～神秘的な中世の自然表現～



指揮 マーク・マスト

Mark Mast

1963年ドイツ・フロイデンシュタットに生まれ、ハイデルベルク、パリ、ミュンヘンで音楽を学ぶ。レナード・バーンスタインに師事しプロフェッショナルな活動をしていく決意と自信を得る。程なくしてセルジュ・チェリビダッケと出会い、彼のクラスで1987年から1992年まで学んだことが指揮者としての成長に決定的な影響を及ぼした。マーク・マストは現在、フォルツハイムの南西ドイツ室内管弦楽団、バーデンバーデンフィルハーモニー管弦楽団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ハイルブロン・ヴェルテンブルク室内管弦楽団、ミュンヘン、ニュルンベルク、ホーフの交響楽団に定期的に招かれているほか、ドイツ国外ではアテネ室内管弦楽団、リガのラトヴィア国立管弦楽団、スロヴェニア国立管弦楽団及び同歌劇場管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、ブカレストのエネスコフィルハーモニー管弦楽団に客演している。また、1994年以来バイエルンフィルハーモニーの支配人及び芸術監督を務め、ズービン・メータ、サー・コリン・デーヴィス、エサ・ベッカ・サロネンとの協働や、オーケストラ・オペラ部門のマスタークラス等の教育活動及び国際コンクールの審査員活動を行っている。彼は1998年から2009年まで『オルフ・イン・アンデヒス』劇音楽祭の音楽監督を務めたほか1998年以来シュヴァルツヴァルト音楽祭の芸術監督を務めており、2010年5月ミュンヘンのプリンツレーゲンテン劇場において『バイエルンフィルハーモニーのオルフの日』を立ち上げた。2001年から『セルジュ・チェリビダッケ財団』のディレクターに指名され2002年に初めての『セルジュ・チェリビダッケ・フェスティバル』を開催、2004年ミュンヘンで第2回を、2006年秋にルーマニアのヤシで第3回を開催した。2005年から2009年までヤシのモルダヴィアフィルの首席客演指揮者を務め、2012年ブカレストにおいてコンサート、マスタークラス、展示、上映、書籍紹介等のイベントで構成する「セルジュ・チェリビダッケ国際フェスティバル2012」を開催、芸術監督として企画運営に携わった。2008年、バイエルンの文化的な生活への貢献、とりわけヴェルナー・エック、カール・オルフ、カール・アマデウス・ハルトマン、リヒャルト・シュトラウスらバイエルンの作曲家の作品紹介によって『ドナウヴェルト・ヴェルナー・エック賞』を受賞。2011年以来ジュネスイュ・ミュージック・バイエルン代表。また、マーク・マストはアリアンツ、バイエルン州立銀行、BMW、PWC、ロビンソン、テレコム等ドイツを代表する企業のコンサルタント及び宣伝活動にも関与している。



7月定期演奏会のご案内

第163回定期演奏会 4/19(木)発売

～ロマンティックな抒情とポピュラーな旋律～

2018年7月7日(土)14:30開演 三井住友海上しらかわホール

指揮/レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督) ピアノ/岡田将

加藤昌則:委嘱作品

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番ハ短調Op.18

ドヴォルザーク:交響曲第8番ト長調Op.88